

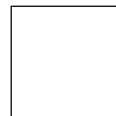
広告掲載料

掲載誌面	スペース		掲載料
表紙 (4)	1頁	4色	¥ 600,000 (+消費税)
表紙 (2)	1頁	4色	¥ 550,000 (+消費税)
表 (2) 対向	1頁	4色	¥ 500,000 (+消費税)
表紙 (3)	1頁	4色	¥ 500,000 (+消費税)
広告頁	1頁	1色	¥ 250,000 (+消費税)
		4色	¥ 400,000 (+消費税)
	1/2頁	1色	¥ 150,000 (+消費税)
		4色	¥ 220,000 (+消費税)
記事下	1/4頁	1色	¥ 80,000 (+消費税)
		4色	¥ 150,000 (+消費税)

- デザイン、データ等制作は別途申し受けます。
- 入稿は、完全データでお願いします。
- 毎号の締切は曜日、特集等で変わる場合があります。(毎月3日申込み締切、毎月10日入稿締切)
- 半年契・年契のご出稿については係にお訪ね下さい。
- 新規お取引きについては各種条件がありますので係にお訪ね下さい。

広告サイズについて:(タテ×ヨコ)

1頁は 235×160 (ミリ) 枠付き、裁ち落としの場合は 257×182 (ミリ)
 1/2頁は 110×160 (ミリ) 枠付き
 1/4頁は 50×160 (ミリ) 枠付き
 表4については 257×172 (ミリ) 裁ち落としでお願いします。



整備・部品・用品の総合情報誌

AUTOMOTIVE 月刊アフターマーケット

監修 全国自動車部品販売店連合会

媒体資料

株式会社 自動車新聞社

〒141-0031 東京都品川区西五反田2-15-7 ジブラルタ生命ビル 7F
 TEL 03-6417-0911 / FAX 03-6417-0910
 URL <http://www.jidoshashinbun.co.jp>

◆オートモーティブ・アフターマーケットのコンセプト

新車販売は、景気の変動に応じて一定期間ごとに上昇と後退を繰り返す循環型の市場構造へ移行しました。このような「成熟市場」にあつて、ディーラーや整備工場をはじめとする自動車関連事業者にとって、新車を売った後に発生する「整備」「部品・用品」「保険」「中古車」など、いわゆる「アフターマーケット」ビジネスの重要性が高まっていることは言うまでもありません。

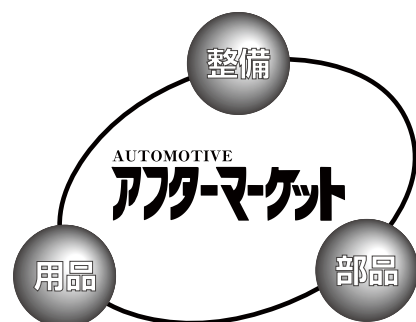
しかし、新車販売の低迷を受けて、ビジネス基盤である保有台数の伸びは近年鈍化しています。また、EVやハイブリッドへの移行で整備・部品・用品市場が大きく変わる変革の時期が来ています。

本書は、ディーラーや整備工場、カーショップ等の第一線レポートをはじめ、「マーケットイン」をコンセプトに取材活動を展開しています。そして、これらの取材活動を通じて得た情報をベースに、自動車関連事業者にとって役立つ、生き残りのための戦略、ノウハウ、ヒントをお伝えします。また、併せて商品情報の充実も図っています。

■アフターマーケットとは

新車が販売されてから廃車されるまでの間に発生する、カーライフに関するユーザーの様々な需要に対応する市場を意味します。具体的には、整備とこれに必要な消耗部品・補修部品、ユーザーの利便性向上や個性化ニーズに対応する各種用品、保険などが含まれます。

本書は「整備」「部品」「用品」を中心に、グローバルな視野で総合的にとらえ、当該市場に携わる読者のみなさんに役立つ情報をお伝えしています。



■発刊の経緯

1958年

全国自動車部品販売店連合会（旧・全国純正部品販売店協会）の監修出版物として、部品・用品のビジネス情報誌『純正ニュース』発刊

1997年

自動車整備と機械工具の専門誌『オートサービス』発刊

2000年

純正ニュースとオートサービスを統合し、アフターマーケット全般をネットワークしたビジネス情報誌『オートモーティブ・アフターマーケット』発刊

★AUTOMOTIVE アフターマーケットの発行形態

発行 株式会社自動車新聞社

〒141-0031 東京都品川区西五反田 2-15-7 ジブラルタ生命五反田ビル 7F

TEL (03) 6417-0911 FAX (03) 6417-0910

形態 B5判 92～160頁

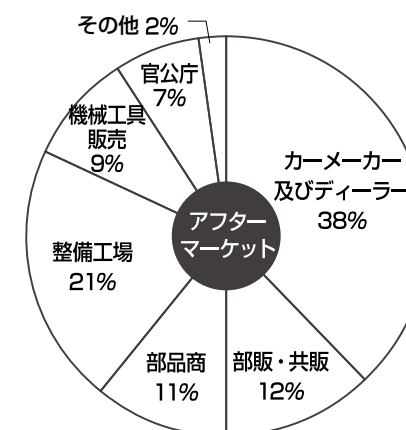
発行日 毎月1日

購読料 年間購読 8,400円 + 消費税（送料無料）

お申込みは hanbai@jidoshashinbun.co.jp

※年間購読料は途中解約されても返金はできませんので予めご了承ください

★購読・配布状況



月刊 アフターマーケット



本誌は、整備・部品・用品の市場を的確に捉え最新の情報を素早く取り込み、現場の声や、関係所管からのデータを基に編集を組んでおります。毎回、特集の中でその時その時代に合った話題を読者に提供出来るよう連載記事や極秘の情報をお届けして参ります。